

大里地区租税教育推進協議会長賞

「今、考える税金とは」

深谷市立上柴中学校 三年 飯島 大樹

この夏、僕は従兄弟たちと青森の「三内丸山遺跡」へ行きました。とても大きな建物やたくさんの展示物はおどろく物ばかりでした。

また、ガイドさんのわかりやすい説明でシアターなど僕たちが学習しやすくなっていました。夏休みだったためたくさんの親子づれが学習にきていました。

僕は教科書で、一度学習した事があったのですが、こんなにすばらしい物だとは思いませんでした。

入る前に、この遺跡の入場料を聞いてみると、

「無料となっております。」

と、受けつけの女の人に笑顔で返されました。

僕は、こんな立派な建物やきれいな女の人の笑顔を無料で見ることができるなんて、とてもいい施設だな、と思いました。

しかし、ふと考えてみると、入場料も取らずに、この施設の維持や管理費は、どうなっているのだろうと思いました。一緒にいたおじに聞いてみたら、

「税金からだと思うよ。」

と言われました。税金から出ているなんておどろきました。

いつも、母が

「働くと、税金ばかり取られてしまう。」

と話している事があるので、あまり、良いイメージではなく、なんだか取られているような感じがしていました。

おじが

「子供たちが、将来のために教育を受けるための教育費は納税する事によって、成り立っているんだよ。今納税をしている人たちのおかげでこんな立派な施設で学習できるんだよ。大人になって納税できるような人になりなさい。」

と、言っていました。

その時、いつも母が言っている悪い税金のイメージがすっかり消えてしまいました。

今、僕は税金という物について、もっともっと理解する為に勉強していかなければいけないということがわかりました。

税という物は、教育の他に、医療や環境など様々な事に関係しています。税は僕たちの生活にとって離れられない存在です。一人一人が税について、正しく理解していなくては、いけないと思います。税金によって、守られている僕たちが、これからはより良い未来のために、立派な納税者になります。

未来を守る事ができるのは、僕たちだから。